

【科目名】 レクリエーション		【担当教員】 田嶋 雄洋 (メールアドレス) (オフィスアワー) 授業開講日、非常勤控室にて対応
【授業区分】 教養分野 (体育学関係)	【授業コード】 1-04-0115-0-3	
【開講時期】 1・2年次 前期	【選択必修】 PT・OT 選択/ST 必修	
【単位数】 1 単位	【コマ数】 8 コマ	
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) (受講のルールに関わる情報・予備知識)		
【講義概要】 (目的) レクリエーションは小児の場合は運動発達を促し、高齢者の場合は活動性をあげるなど、年齢別にさまざまな目的がある。また、目的や対象者によって、的確なレクリエーションを選択する必要がある。楽しむだけでなくレクリエーションの理論を学ぶ。 (方法) 座学の講義以外にレクリエーションを実際に行い、司会役や患者役などに別れ、より良いレクリエーションを提供できる能力を学び、近隣施設へ赴き実践的能力も身につける。		
【一般教育目標(GIO)】 ・レクリエーションの基礎理念の踏まえ、福祉・保健・医療の現場につながる知識・技能の基礎を習得する。		
【行動目標(SBO)】 1) レクリエーションの概念について説明できる。 2) レクリエーションの機能について説明できる。 3) レクリエーション運動の発展の概要を説明できる。 4) レクリエーションの実践の場について説明できる。 5) 福祉レクリエーションの概念・考え方を説明できる。 6) セラピューティック・レクリエーションの考え方・適応方法の概略を説明できる。 7) 高齢者の特性を踏まえたレクリエーション計画を立てることができる。 8) 高齢者に対するレクリエーションを実施することができる。 9) レクリエーションの実践報告をまとめ、発表することができる。		
【教科書・リザーブドブック】		
【参考書】		

} アクティビティ・ケアの基礎

平成 26-28 年度以降入学者用

【評価に関わる情報】									
(評価の基準・方法)									
・試験（筆記試験 50%、レポート 30%）実技 20%で総合的評価を行い 100 点満点で 60 点以上を合格とする。									
【達成度評価】		試験	小テ スト	レポート	成果発 表	実技	ポートフォ リオ	その他	合計
総合評価割合		50	0	30	0	20	0	0	100 点
評 価 指 標	取り込む力・知識	50	0	0	0	0	0	0	50
	思考・推論・創造の力	0	0	30	0	0	0	0	30
	コラボレーションとリーダーシップ	0	0	0	0	20	0	0	20
	発表力	0	0	0	0	0	0	0	0
	学修に取り組む姿勢	0	0	0	0	0	0	0	0
【授業日程と内容】									
回数	講義内容	授業の運営 方法			学修課題(予習・復習)	時 間 (分)			
1	・レクリエーションの意義と歩み	講義				90			
2	・レクリエーション実技	実技				90			
3	・コミュニケーション・ワーク Rec におけるホスピタリティとは	グループ活動及 び講義				90			
4	・コミュニケーション・ワーク 対象者との良好な関係	グループ活動及 び講義				90			
5	・対象者に合わせたレクリエーション 高齢者・知的障害者等への Rec 援助	講義				90			
6	・アクティビティ・ケアについて基礎知識	実技・講義				90			
7	・アクティビティ・ケアの今後の必要性	実技・講義				90			
8	・まとめ レポート作成	課題レポート 作成				90			

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。